

管理医療機器

オーダーメイド式耳あな型補聴器
耳あな型 LS
リサウンド・リンクス² TM

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 ☎ 0120-921-310
一般のお客様電話番号 ☎ 0120-921-102
FAX番号 ☎ 0120-636-392
受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
(土日祝日、年末年始は休み)
〒220-0012
神奈川県横浜市区西區みなとみらい3-6-3MMパークビル8F
認証番号 227AFBZX00032000
KTG0845 LS 01 1809G-18094K

ReSound GN

はじめに

この度はリサウンド補聴器をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この取扱説明書では当補聴器の操作手順、機能、故障が疑われる場合の原因と対策などについて説明しています。お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

この取扱説明書では、各機種を以下のように呼びます。

	リサウンド・リンクス [®] 9	リサウンド・リンクス [®] 7	リサウンド・リンクス [®] 5
IICタイプ ※LPのみ	LS9 IIC	LS7 IIC	LS5 IIC
CICタイプ	LS9 CIC LP LS9 CIC MP LS9 CIC HP LS9 CIC UP	LS7 CIC LP LS7 CIC MP LS7 CIC HP LS7 CIC UP	LS5 CIC LP LS5 CIC MP LS5 CIC HP LS5 CIC UP
ITCタイプ	LS9 ITC-W LP LS9 ITC-W MP LS9 ITC-W HP LS9 ITC-W UP LS9 ITC-DW LP LS9 ITC-DW MP LS9 ITC-DW HP LS9 ITC-DW UP	LS7 ITC-W LP LS7 ITC-W MP LS7 ITC-W HP LS7 ITC-W UP LS7 ITC-DW LP LS7 ITC-DW MP LS7 ITC-DW HP LS7 ITC-DW UP	LS5 ITC-W LP LS5 ITC-W MP LS5 ITC-W HP LS5 ITC-W UP LS5 ITC-DW LP LS5 ITC-DW MP LS5 ITC-DW HP LS5 ITC-DW UP
ITEタイプ	LS9 ITE-W MP LS9 ITE-W HP LS9 ITE-W UP LS9 ITE-DW MP LS9 ITE-DW HP LS9 ITE-DW UP	LS7 ITE-W MP LS7 ITE-W HP LS7 ITE-W UP LS7 ITE-DW MP LS7 ITE-DW HP LS7 ITE-DW UP	LS5 ITE-W MP LS5 ITE-W HP LS5 ITE-W UP LS5 ITE-DW MP LS5 ITE-DW HP LS5 ITE-DW UP
MIH-Sタイプ (外マイクタイプ)	LS9 MIH-S LP LS9 MIH-S MP LS9 MIH-S HP LS9 MIH-S UP	LS7 MIH-S LP LS7 MIH-S MP LS7 MIH-S HP LS7 MIH-S UP	LS5 MIH-S LP LS5 MIH-S MP LS5 MIH-S HP LS5 MIH-S UP
MIHタイプ (外マイクタイプ)	LS9 MIH-W LP LS9 MIH-W MP LS9 MIH-W HP LS9 MIH-W UP	LS7 MIH-W LP LS7 MIH-W MP LS7 MIH-W HP LS7 MIH-W UP	LS5 MIH-W LP LS5 MIH-W MP LS5 MIH-W HP LS5 MIH-W UP

※ 型番にWの含まれる機種がワイヤレス対応

安全上のご注意（必ずお守りください）

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。

禁止	この表示は、してはけない「禁止」の内容です。
-----------	------------------------

目次

はじめに

安全上のご注意

- 製品概要
 - 各部の名称と役割
 - 付属品一覧
- 基本的な使い方
 - 電源の入れ方／切り方
 - 電池寿命お知らせ機能
 - 音量調節
 - プログラム変更
 - 電話での使用
 - スマートフォンアプリとの使用
 - スムーズホンの使用
 - テレコイル
 - ワイヤレスアクセサリー
- 使用上の注意
- 電池使用上の注意
- 故障かな?と思ったら
- 性能表
- 音響諸特性
- アフターサービス

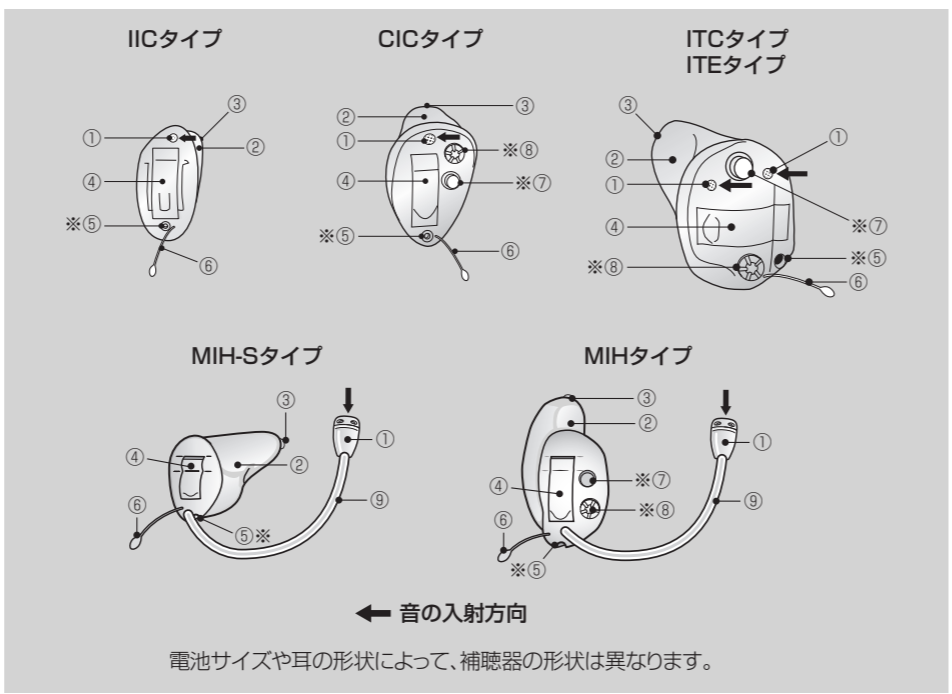
【禁忌・禁止】

- 次の場合、補聴器を使用しないでください。
 - 耳を治療中の場合
 - 耳の中に痛みがある場合
 - 先天的または外傷による明らかな耳の変形がある場合
 - 過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合
 - 過去90日以内に急激または急速な難聴の進行を生じた経験のある場合
 - 急性または慢性的めまいがある場合
 - 耳あか、または異物の集積が明らかな場合
- 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
 - 耳漏が生じたとき
 - 耳の治療が必要になったとき
 - 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき
- 大きな音で聞き続けるとさらに聞こえを悪くすることがあります。
 - 補聴器からピーピー音が発生するハウリング状態で使用し続けると聞こえを悪くすることがあります。

【併用禁忌】

病院などで治療や検査を受けるときの注意

- 1-1. 各部の名称と役割



- 音の入口**
音を集めるためのマイク
- シェル**
耳の中に入れる部分。装着者の耳の形からオーダーメイドで形成
- 音の出口**
本体内部で増幅された音声を外耳道に導く
- 電池ケース**
電池を収納する
- ベント**
外耳道内の通気性を持たせると共に、音響特性を変化させる
※ 聴力によっては付かない場合あり
- テグス**
補聴器を取り出すときのつまみ
- プログラム選択ボタン**(※オプション)
プログラムを切り替える(選択する)際に使用
- ボリュームコントロール**(※オプション)
音量の調節を行う
- マイクチューブ**
マイクが変換した電気信号を補聴器本体の増幅器に導く

1-2. 付属品一覧（携帯用ケースを除く）

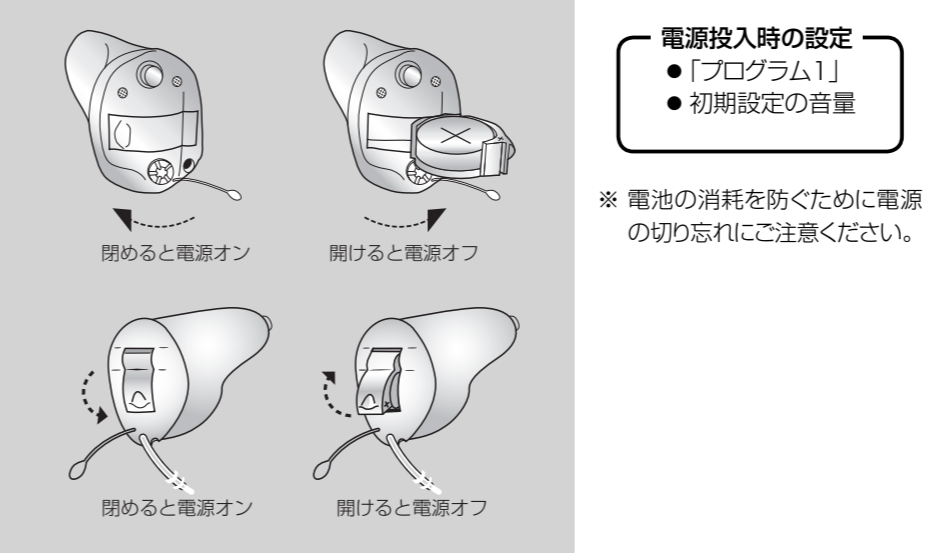
※ □にチェックマークをして、ご使用前にご確認ください。

① 電池（1個）			
<input checked="" type="checkbox"/> IIC、CIC、MIH-Sタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> ITE、MIHタイプ	<input type="checkbox"/>	※ 両耳で購入された場合、電池は2個、耳あかガードは2ケースになります。
PR536/10 <input type="checkbox"/> ITCタイプ	PR41/312または PR48/13(選択式)	<input type="checkbox"/>	
PR41/312			
② <input type="checkbox"/> 耳あかガード			
(選択する耳あかガードの種類によって交換用の耳あかガードが付属するものと付属しないものがあります。詳細はお買い求めの販売店までお問い合わせください。)			
③ 耳あか掃除ブラシ（1本）	④ 乾燥ケース（1個）	⑤ クリーニングクロス（1枚）	<input type="checkbox"/> オプション(別売)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	⑥ マグネット（スムーズホン用）
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 基本的な使い方

2-1. 電源の入れ方／切り方

電源の入／切は電池ケースで行います。電池ケースを完全に閉じると電源が入り、開けると電源が切れます。



- スマートスタート機能

補聴器を耳に装着する際に不快なハウリング(ピーピー音)を防ぐ為の機能です。この機能をオンにすると、電源を入れてもすぐには音が入らず、代わりにお知らせ音(ポーン、ポーン、ポーン…)が鳴ります。

2-2. 電池寿命お知らせ機能

電池残量が少なくなると、電子音(ポポポーン)が15分おきに繰り返し鳴り、補聴器の電源が自動的に切れます。電子音が鳴りましたら、新しい電池と交換してください。予備の電池を常に携帯することをおすすめします。

販売店で設定可能 **オン/オフ**

■ワイヤレスアクセサリー(オプション)使用時

ワイヤレスアクセサリー使用時は、補聴器のみの使用時よりも補聴器の電池消費量が大きくなります。補聴器が使用できなくなるより前に、電子音が鳴りワイヤレスアクセサリーが使えなくなります。新しい電池に交換すると、ワイヤレスアクセサリーは再び使用できます。

電池残量	お知らせ音	補聴器	リモコンユナイトII	TVユナイトII、携帯ユナイトII、マルチマイク、マイクロマイク、iPhone、iPad、iPod touch
(多)	—	○	○	○
(少)		○	○	×
(極少)		×	×	×

2-3. 音量調節

■音量調節

本補聴器は、必要に応じてお客様自身が音量を手動で調節することができます。

ボリュームコントロール付きの補聴器の場合

ボリュームコントロール無しの補聴器の場合

- プログラム選択ボタン付き補聴器の両耳運動機能使用時は、プログラム選択ボタンで音量調節可能

販売店で設定可能

- ワイヤレス対応の補聴器は、リモコンユナイトII、携帯ユナイトII、またはアプリで音量調節可能

※ ボリュームコントロールを回すと「ピッピッ」というお知らせ音が鳴ります。上限あるいは下限に達すると「ポー」という音に変わります。

※ 電源を切ると、変更した音量は元に戻ります。

両耳運動機能使用時

販売店で設定可能 **オン/オフ**

片耳の補聴器の音量を変更するともう片方の補聴器の音量も自動的に変更します。

2-4. プログラム変更

お客様一人ひとりのきこえや使用環境に合わせて最大で4つのプログラムを設定することができます。プログラム選択ボタンを押すたびにプログラムが切り替わり、お知らせ音の回数でプログラム番号をお知らせします。

プログラム	お知らせ音	内容・使用環境
プログラム1	ポーン	
プログラム2	ポーン、ポーン	
プログラム3	ポーン、ポーン、ポーン	
プログラム4	ポーン、ポーン、ポーン、ポーン	

販売店で設定可能

電源投入時の設定

- 「プログラム1」

両耳運動機能使用時

販売店で設定可能 **オン/オフ**

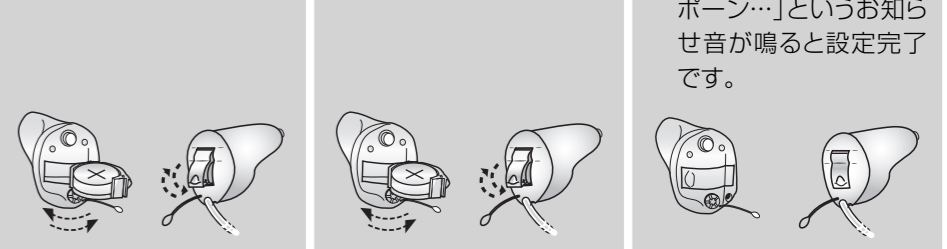
片耳の補聴器のプログラムを変更するともう片方の補聴器のプログラムも自動的に変更します。

■フライトモード(ワイヤレス機能使用時)

搭乗中に電波の使用を禁じられている飛行機内や、無線送信および電波を発する機器の使用が禁止されている場所では、補聴器をフライトモードに設定してワイヤレス機能をオフにしてください。

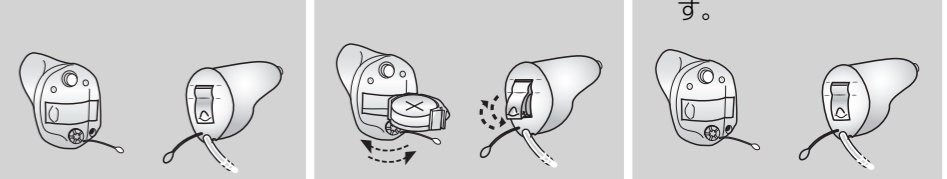
■フライトモードの設定方法

- 電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。
- もう一度電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。
- もう一度電池ケースを閉じてください。「ポーン、ポーン、ポーン…」というお知らせ音が鳴ると設定完了です。



■フライトモードの解除方法

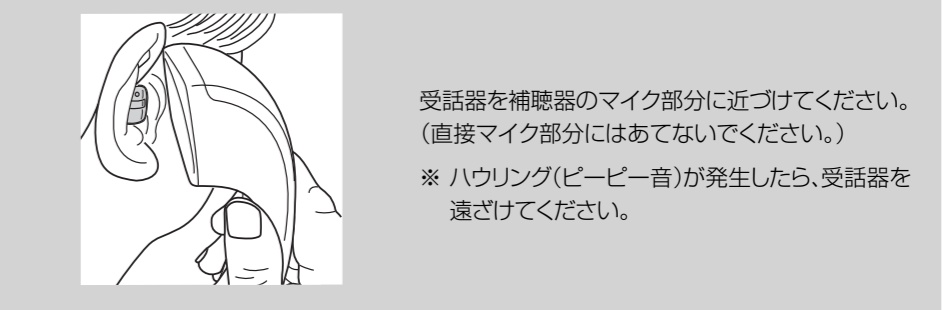
- ポーンというお知らせ音が鳴り終わってから、10秒以上待ってください。
- 電池ケースを一度開け、閉めてください。
- 「ポーン」というお知らせ音が鳴ってから、電池ケースを閉めた状態で30秒待つと解除されます。



※ 「ポーン」というお知らせ音が鳴る場合は、①からもう一度行ってください。

2-5. 電話での使用

本補聴器は、装着したままでも電話を使用することができます。



※ 本補聴器は、携帯電話からの電磁妨害に対する最も厳格な基準を守っています。しかし、すべての携帯電話と適合性があるわけではありません。もし、お持ちの携帯電話での聞き取りが悪かった場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

2-6. スマートフォンアプリとの使用

リサウンドのスマートフォンアプリとリサウンドのワイヤレス補聴器はスマートフォン経由で信号を送受信します。リサウンドのスマートフォンアプリは、リサウンドの補聴器と使用するように設計されています。

- 通知をオフにしないでください。
- アプリが正しく作動するように、アップデートを行ってください。
- リサウンド以外の補聴器に接続してもその動作を保証するものではありません。

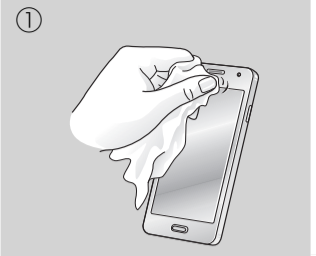
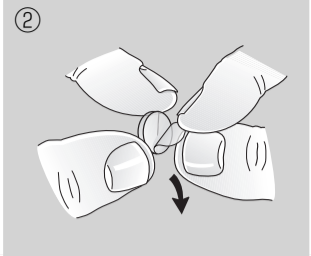
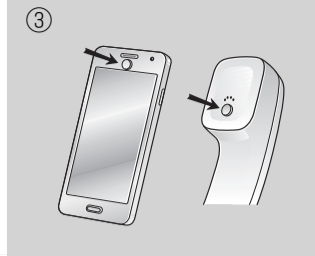
※ Bluetooth対応のスマートフォンをお持ちの場合は、携帯ユナイトIIを使用して通話することができます。

2-7. スムーズホンの使用（オプション、IICタイプは非対応）

スムーズホン用のマグネットを取り付けた受話器を耳にあてると、お知らせ音が鳴り、自動的に補聴器が電話モードになります。受話器を耳から離すと、自動的に元のプログラムに戻ります。必要に応じて、受話器の最適な位置をお探しください。

両耳連動機能使用時	販売店で設定必要 専用プログラム
受話器を当てていない耳の音量が下がります。	

■ マグネットの取り付け方

①	②	③
		
受話口周辺を清潔な状態にしてください。	マグネットからホイルを取り外してください。	受話口のすぐ下に貼ってください。

▲ 警告

- (1) スムーズホン用のマグネットは医療機器や電子装置へ影響を与える可能性があります。詳細はお使いの医療機器、電子装置の取扱説明書をご参照ください。記載がない場合は、30cm以上離してお使いいただく事を推奨します。
- (2) スムーズホンプログラムに切り替わらない場合は、マグネットが受話口に対して最適な位置にない可能性があります。その場合は、マグネットを受話器の他の場所に動かしてください。
- (3) 必ずリサウンドのスムーズホン用のマグネットをご使用ください。

2-8. テレコイル (オプション)

本補聴器は、内蔵テレコイルのオプション仕様があります。テレコイルは、教室、公共施設、家庭内などのヒアリングループシステムのある場所で、他の音に阻害されることなく必要な音を聴取するときに使用します。また、強い誘導信号を出力するコイルを内蔵した受話器であれば、電話でお使いいただくことができます。テレコイルの詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

販売店で設定必要 **専用プログラム**

2-9. ワイヤレスアクセサリ

リサウンドのワイヤレスアクセサリは、高音質のステレオ音声で補聴器へのダイレクト送信が可能です。

下記のワイヤレスアクセサリがあります。

TVユナイトⅡ: テレビやその他のオーディオ機器からの音声を、あなたに合った音量で補聴器にダイレクト送信します。

リモコンユナイトⅡ: 補聴器の音量調節や消音、プログラム変更などができ、すべての設定を一目で見ることができます。

携帯ユナイトⅡ: 通話や音声を両耳の補聴器にダイレクト送信するとともに、シンプルなりモコンとしても機能します。

マイクロマイク: 話し相手の胸元に身に付ければ、騒がしい環境で離れても相手の声が聞き取りやすくなる補聴器用マイクです。

マルチマイク: マイクロマイクの機能に加えて、テーブルマイクとしても機能します。FMシステム、テレコイル、ライン入力にも対応しています。

詳しく知りたい場合はお買い求めの販売店にお尋ねください。

- ※ リサウンドのワイヤレスアクセサリはリサウンドのワイヤレス補聴器とのみご使用ください。
- ※ ペアリング等のより詳しい使い方はワイヤレスアクセサリの取扱説明書をご覧ください。

3 使用上の注意

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は補聴器を正しく使っていただき、装着者ご本人や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。以下の項目をお読みになり、取扱いにご注意ください。

▲ 警告

- **お子様が触れないようご注意ください。**
飲み込むと窒息の危険を伴う小さなパーツを含んでいるので、幼児の手に触れさせないようにお願いします。
- **飛行機に搭乗する際には、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。**
- **スムーズホン用のマグネットは乳幼児の手の届かないところに保管してください。**
マグネットを誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、マグネットを鋭剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。
- **電波を出すことを禁じられているエリアでは、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。**
- **リサウンドの補聴器を補聴器用ワイヤレスアクセサリと接続する際には、必ずリサウンドの補聴器用の機器(有料オプション品)をご使用ください。**
- **フィッティングを行う専門家の方への警告:**
この補聴器は132dB SPL以上の出力がある場合があります。フィッティングの際には充分注意してください。

▲ 注意

- **ハウリング(ピーピー音)にご注意ください。**
補聴器がきちんと取まっていない場合や、抜けて隙間ができた場合などには特にハウリングが起こりやすく、装着者に不快感を与えるばかりでなく、周囲の人にも迷惑をかけることになります。ご自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきてもらい、補聴器を正しく入れ直してください。

- **補聴器を装着して炎症が生じたら**…この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症などを起こしにくい材料を使用していますが、装着者の体質によっては、まれにかぶれや湿疹などを生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装着を中止し、医師へご相談ください。
- **低周波治療器・電磁(H)調理器などによって補聴器に雑音が発生することがあります。**

- **<使用済補聴器の処理方法>**
「**使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律**」の「**使用済み小型電子機器等の回収に係るガイドライン**」で補聴器は**特定対象品目**に指定されました。ご不用になった補聴器は、**お住まいの市町村の指示に従って処理してください。**

- **ご不用になった付属品は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。**

- **ワイヤレス機能がオンになっているとき、ワイヤレス機器と通信するため、デジタル符号化された低出力伝送が使われます。そのため、ワイヤレス機器を使用しているときに近くの電子機器に影響を与える可能性があります。万が一機器への影響が認められた場合は、補聴器を遠ざけてください。**

- **ワイヤレス機能及び機器の使用に際して電磁波障害が起こった場合には、その原因と必ずものから遠ざけてください。**

- **サウンドジェネレーター機能の使用には医師の処方が必要です。ご使用の際には必ず医師の指示に従ってください。**

● 禁止

- **補聴器を水に濡らさないでください。**
補聴器を装着したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔なさらないでください。

- **補聴器を分解したり、ご自分で修理・改造などを絶対になさらないでください。**

- **補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを絶対に使わないでください。**

- **補聴器を他人にお貸しにならないでください。**
補聴器は使用者本人以外絶対ご使用にならないでください。他の人がこの補聴器を装着しても音量や音質が合わず聞こえにくいばかりでなく、耳を痛める場合があります。

- **病院内の検査機器にご注意ください。**
MRIやCTスキャナーなどの検査は補聴器に損傷をあたえる可能性がありますので、同種の検査中は補聴器の装着をおやめください。

この補聴器の無線機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
1. この補聴器の無線機能を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この補聴器の無線機能と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの補聴器の無線機能の使用場所を変えるか、または使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときには、弊社のカスタマーサービスまでお問い合わせください。

2.4 FH 1
2.400 2.427 2.470.75 2.483.5 MHz

この補聴器の無線機能は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

4 電池使用上の注意

▲ 警告

- ショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- 電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- **電池を誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師へご相談ください。また、電池を鋭剤と間違わないように注意し、薬を飲むときは必ず確認するようにしてください。**
- 電池内部の液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、ただちに医師へご相談ください。

▲ 注意

- +、-を逆向きに入れないでください。
- 必ず指定されたタイプの電池を使用してください。

5 故障かな?と思ったら

症 状	原 因	対 策
音がきこえない／音の大きさが不十分	電源が入っていない。電池が消耗している。音の出口が詰まっている。	電池ケースを閉じる。電池を新しい物に交換する。音の出口を掃除して詰まりをとる。耳あかガードを新しい物と交換する／掃除する。
	耳あかガードが詰まっている。	医師に相談する。
	装着者の耳に過度の耳あかが詰まっている。	医師に相談する。
	設定音量が小さい。	可能であれば音量を上げる、または販売店に相談する。
	マイクに耳あかが詰まっている。	耳あか掃除ブラシを使って耳あかを取り除く。
	外マイクタイプの場合、マイクが正しい位置に装着されていない。	マイクを装着し直す。
	マイクかマイクチューブが壊れている。	販売店に相談する。

症 状	原 因	対 策
ハウリング(ピーピー音)がする	補聴器が耳の中に正しく挿入されていない。補聴器の設定が合っていない。装着者の耳に過度の耳あかが詰まっている。外マイクタイプの場合、マイクが正しい位置に装着されていない。	補聴器を一度取り出してから注意して入れ直す。販売店に相談する。医師に相談する。マイクを装着し直す。
音が不明瞭、音が歪む	電池が切れかかっている。プログラムの設定が合っていない。マイクチューブの長さが合っていない。	電池を新しい物に交換する。販売店に相談する。販売店に相談する。
ワイヤレス機能が使えない	フライトモードに入っている。	フライトモードを解除する。

※ 対策をしても解決しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

6 性能表 2cmカブラ 測定規格：JIS C 5512：2015

性能表	表示単位	LP	MP	HP	UP	
90dB入力最大出力音圧レベル	HF-OSPL90 ピーク	±4dB SPL +3dB SPL以下	110 115	113 119	120 121	125 130
最大音響利得	HFA-FOG ピーク	±5dB +3dB以下	38 40	45 50	54 60	63 70
等価入力雑音レベル		+3dB SPL以下	21	21	20	20
全周調波ひずみ	500Hz	+3%以下	0.6	0.7	0.4	0.5
	800Hz	+3%以下	0.6	0.8	0.7	1.0
	1600Hz	+3%以下	1.0	0.9	0.5	0.2
電池の電流	IIC,CIC,MIH-タイプ	+20%mA以下	1.2	1.3	1.2	1.1
	ITC,ITE,MIH-タイプ		1.3	1.3	1.3	1.2
電池寿命(1.4V)	IIC,CIC,MIH-タイプ PRS36/10	時間	75	70	75	80
	ITC,ITE,MIHタイプ PR41/312		125	120	120	135
	ITE,MIHタイプ PR48/13		205	200	205	230
規準周波数レスポンス	帯域幅	Hz	100 - 6960	100 - 7110	100 - 6770	100 - 4700
試験用ループに対する等価感度	規準利得 (RTG)	dB	33	36	43	49
誘導コイル入力の最大感度レベル	HFA-MASL	±6dB SPL	—	74	83	93
定常状態入出力特性(2000Hz)	50dB入力 90dB入力	±5dB SPL (70dBで正規化)	87 111	91 113	101 116	110 125
最大感度となる方向			—	垂直	垂直	垂直
サウンドジェネレーター機能最大出力音圧レベル	500Hz	±5dB SPL	75	72	77	77
	1000Hz	±5dB SPL	77	76	79	80
	2000Hz	±5dB SPL	80	80	83	87
	4000Hz	±5dB SPL	81	80	77	79
	ピーク値	±5dB SPL	87	86	86	87
広帯域最大出力音圧レベル		±5dB SPL	91	91	92	93
使用目的、又は効果			身体に装着して、難聴者が音を増幅して聞くことを可能とすること。ただし、気導式のものに限る。また、耳鳴りによる不快感の軽減に用いること。			
使用時の環境条件			湿度0～40℃、湿度40℃/93%以下、気圧500～1100hpa			
電撃保護			内部電源機器 B形装着			
輸送・保管条件			湿度-20～60℃、湿度90%RH以下(結露なきこと)、気圧500～1100hpa			

※ ワイヤレス機能使用時は電池寿命が短くなります。

※ IIC、CIC、MIH-タイプはテレコイル非対応です。





※ 数値は参考値です。

■ ㊦ 技適マークについて

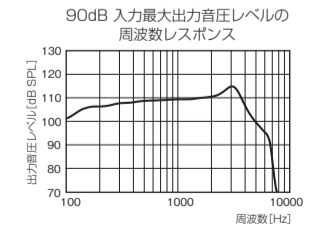
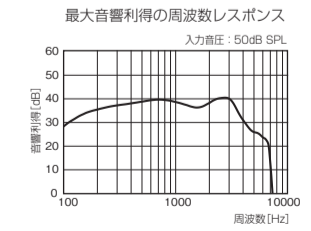
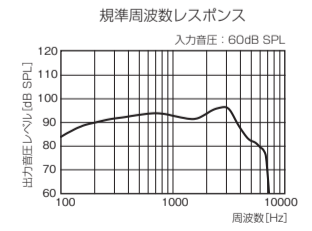
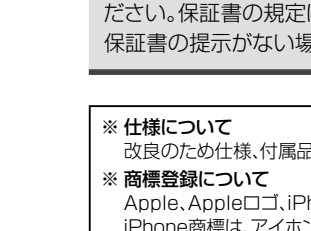
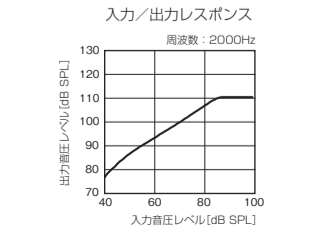
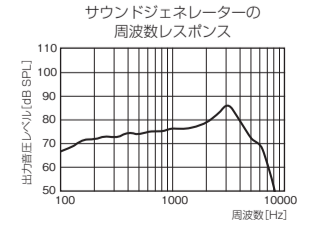

※ ワイヤレス機能を搭載した製品が対象です。

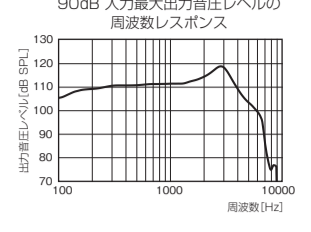
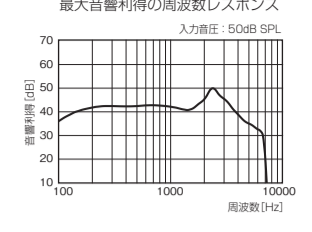
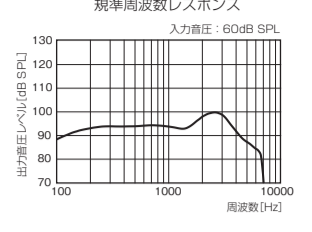
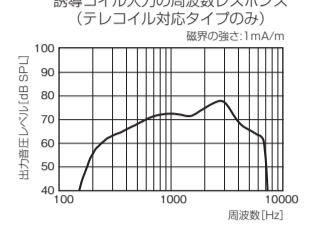
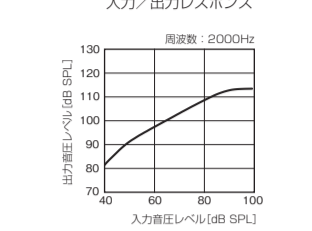
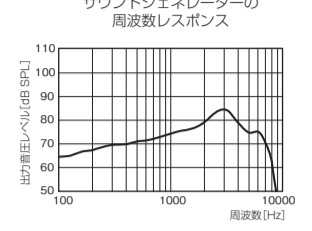
※ 本補聴器は本体部分に技適マークを表示する面積が確保できないため、以下にそれについての記載を行います。

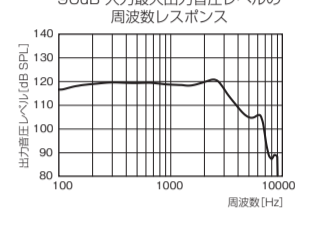
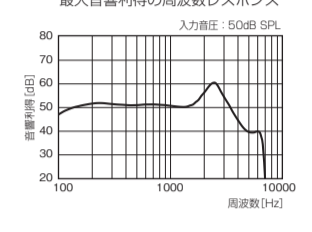
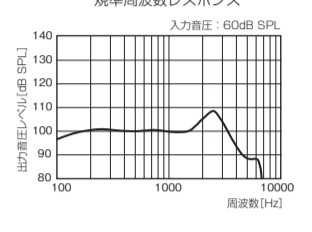
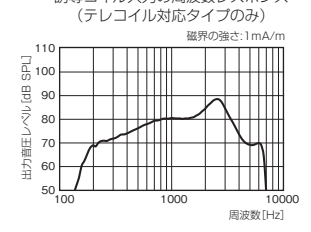
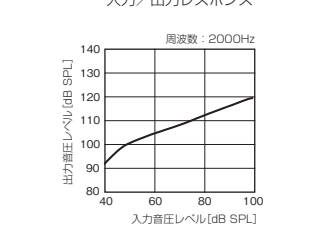
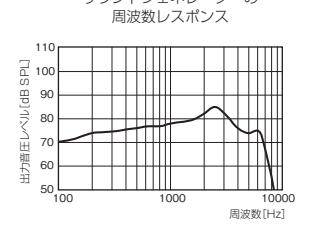
本補聴器は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として工事設計認証を受けております。したがって、本補聴器を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

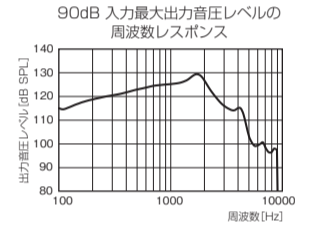
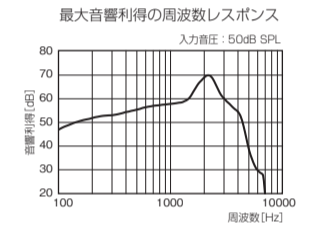
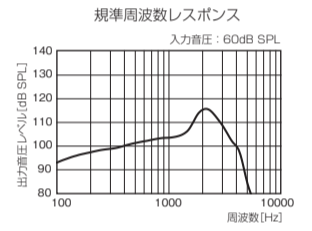
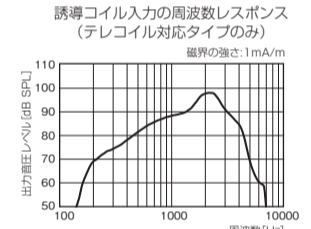
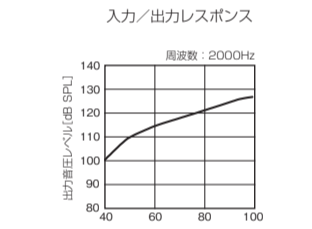
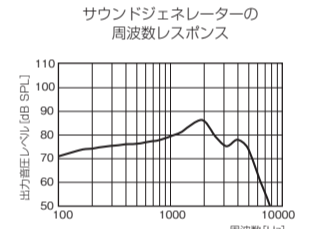
	使用電池 PR41/312	使用電池 PR48/13
ITC,ITEタイプ	 203-JN9010	 203-JN9009
MIHタイプ	 203-JN9011	 203-JN9008

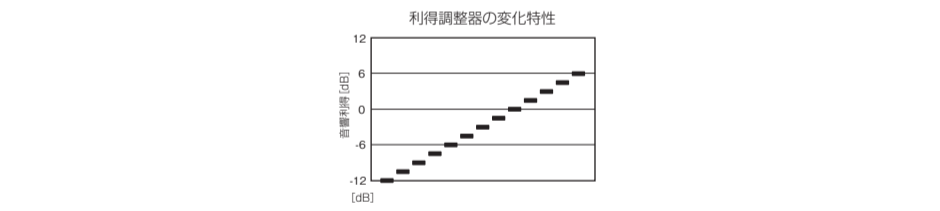
7 音響諸特性 2cmカブラ 測定規格：JIS C 5512：2015

LP	MP	HP	UP
			
			

MP	HP	UP
		
		

HP	MP	UP
		
		

UP	MP	UP
		
		

IICを除く全タイプ共通	利得調整器の変化特性
	

8 アフターサービス

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日、販売店名などの記入を必ずお確かめになり、大切に保管してください。保証適用時には、保証書が必要となります。

■ 修理について

- ・ **保証期間中**
保証書を添えてお買い求めの販売店へお持ちください。保証書の規定に従って、修理いたします。保証書の提示がない場合は有料となります。
- ・ **保証期間後**
お買い求めの販売店にご相談ください。修理にたいさい。保証書の規定に従って、修理いたします。より使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

- ※ **仕様について**
改良のため仕様、付属品は予告なく変更される場合があります。
- ※ **商標登録について**
Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のリセンスに基づき使用されています。
- 「Made for Apple(ツジ)」は、iPhone、iPad、iPod touchに接続するよう設計され、Appleが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- ※ ©2018 GNヒアリングジャパン(株) 無断複写転載禁止。Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のリセンスに基づき使用されています。AndroidはGoogle Inc.の登録商標です。Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

Made for
iPhone | iPad | iPod

耳あな型補聴器 簡単ガイド

取扱説明書

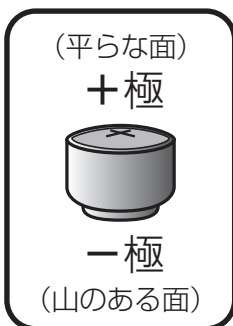
製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 ☎ 0120-921-310
一般のお客様電話番号 ☎ 0120-921-102
FAX番号 ☎ 0120-636-392
受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
(土日祝日、年末年始は休み)
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3MMパークビル8F

ReSound GN

KTG0851 01 1809B-180910K

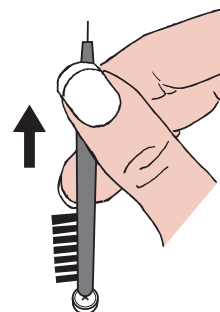
電池の入れ方・出し方

①



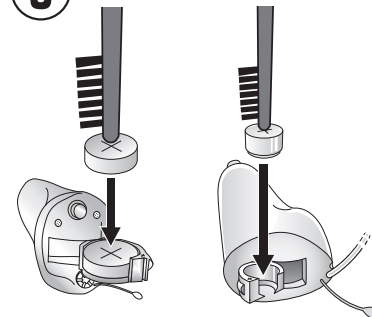
電池のテープをはがして、1分程度経過してからご使用ください。

②



耳あか掃除ブラシ先端の磁石に+マークのついている面をつけ、そっと持ち上げてください。

③

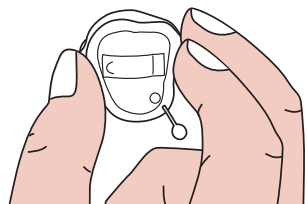


補聴器の電池ケースにまっすぐ入れてください。耳あか掃除ブラシを横にスライドさせ、電池から引き離してください。

補聴器の着け方・外し方

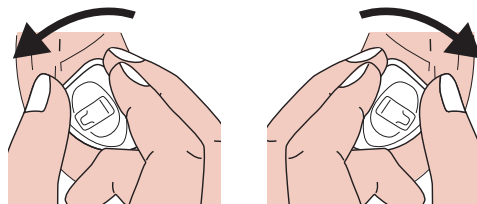
耳あな型

①



ベントもしくはテグスの位置が補聴器の下側になる向きで、3本の指で補聴器をつまみます。

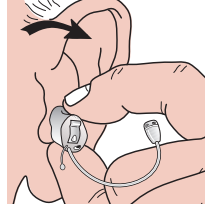
②



音の出口側を耳の穴に入れ、補聴器を矢印の方向(前から後ろ)へ少しねじりながら、耳にピッタリと収まるまで押し込んでください。

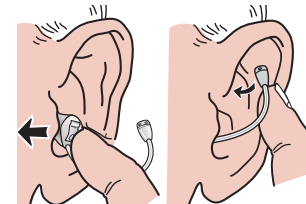
外マイク耳あな型

①



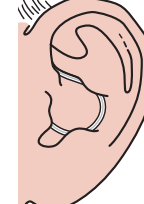
人差し指を上、親指を下にし、マイクが上を向くようにシェルを持ち、補聴器が耳の入口におさまるまでやさしく押し込んでください。

②



補聴器が耳の入口におさまるまでやさしく押し込んでください。マイクチューブを耳の形状に沿わせて装着してください。

③



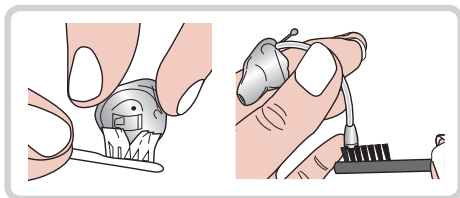
補聴器が正しく装着されると上図のようになります。もしマイクチューブが耳を刺激するようでしたら、お買い求めの販売店にご相談ください。

日ごろのお手入れ

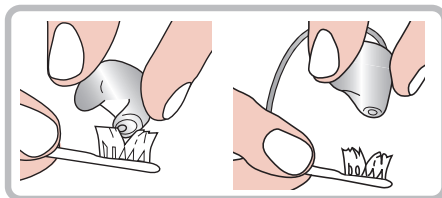
① 毎日のお手入れ

ご使用後は、付属の耳あか掃除ブラシで耳あかを取り除き、クリーニングクロス又はティッシュペーパーなどで油分や湿気を拭き取ってください。

音の入口

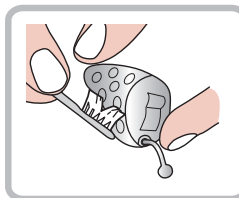


音の出口



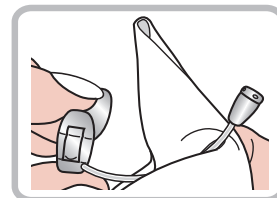
※ 耳あかが補聴器本体に入りこまないように、必ず清掃面を下に向けて掃除してください。

ディンプルシェル



シェル表面に残った耳あかななどを耳あか掃除ブラシで取り除いてください。

マイクチューブ



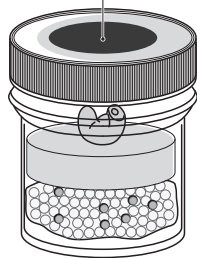
② 耳あかガードの交換

通常のフィルタの掃除で取りきれないほど耳あかガードの網目がふさがってきたら、必要に応じて交換してください。詳細についてはお買い求めの販売店にご相談ください。

補聴器の保管について

補聴器はいつも乾燥した状態にしておいてください。補聴器は汗や湿気に弱いため、装用後は必ず、乾燥ケースに一晩入れておいてください。この時、必ず電池を抜いてください。※電池を乾燥ケース内に入れると、電池寿命が極端に短くなる可能性があります。

電池置き場



注意・禁止事項

● 熱を避ける



● 湿気を避ける



注意

- (1) 乾燥剤を焼いたり、電子レンジで温めたりなどして、再利用しないでください。乾燥剤の色が変わったら新しいものと交換してください。
- (2) 乱暴な扱い方は補聴器の故障の原因となります。床など固い面に落とさないでください。

禁止

- (1) 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- (2) シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けてください。
- (3) 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを使わないでください。また、直射日光に長時間さらさないでください。外部変形及び外部変色、内部損傷や焼失の原因となります。